

如来教関係史料の所蔵所と公開状況

- ※ 本表中、上4行の網掛けのないセルのみが、史料を実際に披見可能な所蔵所に関する記事
- ※ 「史料の分類」より下の行のうち二重線で囲んだセルが、現在披見可能な史料（ないしは史料群＝本コレクションの細分類）
- ※ 宗教法人如来教は教団史料を非公開だが、宗教法人一尊教団と一橋大学附属図書館、その他の所蔵所の史料をすべて披見すれば、如来教関係史料のほぼ全貌にふれることが可能

各所蔵所 (現在の名称)	宗教法人如来教 本部：青大悲寺	宗教法人一尊教団 本部：如来庵	一橋大学附属図書館 (コレクション：「清水諫見氏旧蔵如来教関係史料」)	その他の所蔵所 (所蔵者)	
各所蔵所 (旧来の通称または創立時の旧称)	御本元	大悲教会維持財団	「清水諫見氏旧蔵如来教関係史料」の名称は、『如来教・一尊教団関係史料集成』の編者神田が編纂時に命名。	如来教・一尊教団の各末庵ないし その他の諸個人	
所在地	名古屋市熱田区旗屋 ※ 所蔵史料は写真撮影も されていない模様	金沢市弥生 (創立当初は東京の東光庵内) ※ 金沢大学文学部日本史研究室が一尊教団所 蔵写本の光学写真フィルムを所蔵	東光庵 (東京府豊島郡豊島村西巢鴨) ⇒ 清水諫見氏宅 (鎌倉市) ⇒ 一橋大学附属図書館 (東京都国立市)	名古屋・東京・天理等の各地	
史料公開の状況	「教内の出家者以外には非 公開」 という原則を今も堅持。 石橋智信への許可は例外	日本思想体系『民衆宗教の思想』の刊行 (1971年) 以来、研究者向けには事実上「全 面公開」	1979年の寄贈以来、神田が徐々に翻刻公開 し、2009年、神田秀雄・浅野美和子編『如来 教・一尊教団関係史料集成』が完結。 2023年、本コレクションで「全面公開」	「所蔵状況および所蔵内容」より下の 行に掲げるものは、未庵所蔵の『お経 様』等を除き、左記『史料集成』に翻 刻収載 (= 公開) 済み	
史料の分類 (本コレクションで使用のもの)		所蔵状況および所蔵内容 (推定を含む)			
【1】 教祖在世時代 から幕末期ま でに成立した 史料群	『お経様』 = 教典	総数約300篇の原本と書写本 を広く所蔵 (推定)	所蔵 = 総数300篇前後の『お経様』のうち約250 篇 (原本以外の書写本)	ごく一部の年月日未詳の『お経様』 (数篇。一 尊教団の所蔵本にないものを含む) のみを所蔵	* 如来教・一尊教団の各末庵も書写本を所 蔵 (閉庵した如来教の末庵は本部に返納) * 金木市正の信者青地家 (蔵前の札差) の 子孫や尾張藩士刑部家の子孫大内美余子氏 (名古屋の作家) が若干篇の書写本を所蔵
	『御説教目録』 = 教典の目録	所蔵 (推定)	所蔵	所蔵なし	未詳 (各末庵は所蔵と推定可)
	『御由緒』 = 教祖伝	原本や書写本を所蔵 (推定)	所蔵なし	所蔵 (書写本)	* 同朋大学名誉教授服部仁氏が書写本を所 蔵 (名古屋の古書店で購入)
	『文政年中おはなし』 = 教祖と信者の対話の記録	原本や書写本を所蔵 (推定)	所蔵 (原本以外の書写本。上、中の2点)	所蔵なし	未詳
	『文政年中御手紙』 = 手紙文の口述筆記	東光庵に貸し出したもの以 外の写本の存否は未詳	所蔵なし	所蔵 (原本の可能性が高い写本。一、二の2 点)	未詳
	小寺一夢の述作	所蔵 (推定。数量未詳)	所蔵なし (「清水氏史料」に移行?)	所蔵 (書写本2篇。全述作か否かは未詳)	未詳
	その他	未詳	未詳	所蔵なし	* 江戸蔵前の札差青地家の子孫が金木市正 の徒刑先の三宅島からの書簡を所蔵

各所蔵所 (現在の名称)		宗教法人如来教 本部：青大悲寺	宗教法人一尊教団 本部：如来庵	一橋大学附属図書館 (コレクション：「清水諫見氏旧蔵如来教関係史料」)	その他の所蔵所 (所蔵者)
各所蔵所 (旧来の通称または創立時の旧称)		御本元	大悲教会維持財団	「清水諫見氏旧蔵如来教関係史料」の名称は、『如来教・一尊教団関係史料集成』の編者神田が編纂時に命名。	如来教・一尊教団の各末庵ないしその他の諸個人
所在地		名古屋市熱田区旗屋 ※ 所蔵史料は写真撮影もされていない模様	金沢市弥生 (創立当初は東京の東光庵内) ※ 金沢大学文学部日本史研究室が一尊教団所蔵写本の光学写真フィルムを所蔵	東光庵 (東京府豊島郡豊島村西巢鴨) ⇒ 清水諫見氏宅 (鎌倉市) ⇒ 一橋大学附属図書館 (東京都国立市)	名古屋・東京・天理等の各地
史料公開の状況		「教内の出家者以外には非公開」という原則を今も堅持。石橋智信への許可は例外	日本思想体系『民衆宗教の思想』の刊行 (1971年) 以来、研究者向けには事実上「全面公開」	1979年の寄贈以来、神田が徐々に翻刻公開し、2009年、神田秀雄・浅野美和子編『如来教・一尊教団関係史料集成』が完結。2023年、本コレクションで「全面公開」	「所蔵状況および所蔵内容」より下の行に掲げるものは、未庵所蔵の『お経様』等を除き、左記『史料集成』に翻刻収載 (= 公開) 済み
史料の分類 (本コレクションで使用のもの)		所蔵状況および所蔵内容 (推定を含む)			
【2】 小寺大拙の書簡と遺墨	【2-1】小寺大拙書簡	大拙発信書簡は所蔵せず？ 大拙受信の書簡は多数所蔵？	所蔵なし (「清水氏史料」に移行)	所蔵 (83点)	* 宗教法人如来教の末庵や個々の篤信者が所蔵の可能性あり (ただし、すでに閉庵した末庵は御本元へ返納か？)
	【2-2】小寺大拙執筆の教義文書・遺墨等	所蔵 (推定。内容や点数は未詳)	一部は所蔵か (「清水氏史料」に一尊教団刊行本がある)	所蔵 (8点)	* 愛知県図書館が『四部経略語』、『座禅園』の書写本を所蔵
【3】 明治・大正期に小寺大拙・清宮秋叟以外の如来教関係者が遣り取りした書簡・文書類	【3-1】明治・大正期の御本元および東光庵関係者が遣り取りした書簡	所蔵 (推定。内容や点数は未詳)	所蔵なし (「清水氏史料」に移行)	所蔵 (6点)	未詳
	【3-2】明治期の東光庵関係者が受領した公文書	論理的に所蔵なし	所蔵なし (「清水氏史料」に移行)	所蔵 (1点)	未詳
【4】 大正末年以降太平洋戦争後にかけて成立した史料群	【4-1】清宮秋叟が毛筆で残した文書群 (書簡を除く)	未詳	所蔵なし (「清水氏史料」に移行)	所蔵 (10点)	未詳
	【4-2】昭和初年までの如来教の「開顕」運動に関する史料群	未詳	所蔵 (1点)	所蔵 (43点)	* 天理図書館の「石橋文庫」(石橋智信の旧蔵書) 中に大正期の如来教史料あり
	【4-3】清水氏が受信・受領した書簡・文書等	論理的に所蔵なし	論理的に所蔵なし	所蔵 (15点)	未詳
	【4-4】宗教団体法施行後の「単立教会」設立申請関連書類	所蔵 (推定。内容や点数は未詳)	所蔵なし	所蔵 (14点)	* 天理図書館の「石橋文庫」(石橋智信の旧蔵書) 中に当該期の如来教史料あり
	【4-5】清水氏が蒐集したと推定できる書籍・印刷物等	論理的に所蔵なし	論理的に所蔵なし	所蔵 (9点)	未詳
【5】その他	未詳	所蔵なし	所蔵 (13点)	未詳	